

(公印省略)

2023年1月1日

23福岡県コミ発第1号

福岡県下の成人指導者の皆様

日本ボーイスカウト福岡県連盟

県コミッショナー 郡島 三曉

よりよいスカウティングに向けたスカウトへのスマートネスの指導について(お願い)

三指

謹んで新春のおよろこびを申しあげます。今年もスカウト運動の維持発展のために、皆様のご支援、ご助力をお願い申しあげます。

さて、新型コロナウィルス感染症が広がって、はや3年が経とうとしています。この間、団相互の交流が少なくなり、多くのスカウトが一堂に会する機会が減りました。このことによって、団内で独自の文化が生まれ、それがスカウトの姿に表れてきている状況が散見されます。

具体的には、制服の着方や「ちかい」「おきて」の唱和の仕方など、スカウト仲間では根幹として共有すべきことが、団によっては微妙にずれている姿が見られています。

年頭にあたり、今一度スカウトに「スマートネス」の指導として、下記の事項を徹底していただきますようお願いします。

今年は、第25回世界スカウトジャンボリーが開催され、他県・他国のスカウトと接するスカウトもたくさんいます。その際に自信を持って送り出せるよう、お願いします。

彌榮

記

○重点指導依頼事項 「スマートネス」の指導

※ここでいう「スマートネス」とは

「ちかい」と「おきて」(BVS「やくそく」と「きまり」、CS「やくそく」と「さだめ」)を姿や言動に表れている姿のこと。容姿を指すものではない。(教育規程7-1参照)

○具体的な指導内容

- 1 正しくスカウトサインをして、「ちかい」と「おきて」(BVS「やくそく」と「きまり」、CS「やくそく」と「さだめ」)を正しく述べること
- 2 日本連盟規程をもとに、制服を正しく着用すること
- 3 「ちかい」と「おきて」を実践すること

※別添資料を参考にご指導ください。

【別添1】「ちかい」と「おきて」を正しく述べる(BS 以上)

序章「ちかいとおきて」

——スカウトのちかい——

私は、名誉にかけて、次の三条の実行をちかいます。

- 一. 神(仏)と国とに誠を尽くしおきてを守ります
- 二. いつも他の人々をたすけます
- 三. からだを強くし心をそこやかに徳を養います

——スカウトのおきて——

1. **スカウトは誠実である**
スカウトは、信頼される人になります。
真心をこめて、自分のつとめを果たし、名譽を保つ努力をします。
2. **スカウトは友情にあつい**
スカウトは、きょうだいとして仲よく助け合います。
すべての人を友とし、相手の方を尊重し、思いやりのある人になります。
3. **スカウトは礼儀正しい**
スカウトは、規律正しい生活をし、目上の人を敬います。
言葉づかいや服装に気をつけ、行いを正しくします。
4. **スカウトは親切である**
スカウトは、すべての人の力になります。
幼いもの、お年寄り、体の不自由な人をいたわり、動植物にもやさしくします。
5. **スカウトは快活である**
スカウトは、明るく、明るく、いつも笑顔でいます。
不平不満を言わず、元気よく、進んでものごとを行います。
6. **スカウトは質素である**
スカウトは、物や時間を大切にします。
むだをはぶき、せいたくをせず、役立つものは活用します。
7. **スカウトは勇敢である**
スカウトは、勇気をもって、正しく行動します。
どんな困難なことがあってもくじけずに、新しい道をきり開きます。
8. **スカウトは感謝の心をもつ**
スカウトは、信仰をあつくし、自然と社会の恵みに感謝します。
お礼の心で、自然をいくしみ、社会に奉仕します。

The Scout Handbook ADVANCE

スカウトハンドブック アドバンス

「ちかい」と「おきて」の実践

スカウトハンドブック・アドバンスを手にしている君は、世界中のスカウトの仲間と同じようにスカウトの「ちかい」を立てていることだろう。

スカウトハンドブック・アドバンスを読み進める前にもう一度「ちかい」と「おきて」について考えてみよう。スカウトの「ちかい」は難しいことは何一つ書いていない。ただ書いてあることをしっかりと受け止めて、日々の生活の一端になるように受容するのだ。「私は、名誉にかけて、次の三条の実行をちかいます。」

君は、これまで、そしてこれから長い人生においてもたくさんの選択をすることだろう。このハンドブックを読んでいる今この瞬間にも選択をしているはずだ。その選択は時には良い方向に君を導き、時に悪い方向に導くこともある。そのどちらでなくとも君の人生は、君が何らかの選択をした方向に進んでいくのである。だから選択をする時にしっかりとぶれることの無い自分の意思が大切なのである。明確な意思である信念を育てることができれば君が選択をしたことが、たとえどのような方向に行なったとしても後悔をすることはないはずだ。そのぶれることの無い、君の基準となるものがスカウトの「おきて」なのである。

君が何かに迷った時は、8つのスカウトの「おきて」を唱えてみよう。どちらを選んだら誠実だろうか?どちらを選んだら友情にあついだろうか?そして「おきて」を守るように選択をして行動してみよう。きっと君の選択は、いつも君にとって良いものになっているはずだ。その時は何か損をしたような気持ちになったとしても、その先に良かったと思うことがたくさんあるはずだ。そうして歩んでいく君の人生はこの「ちかい」と「おきて」の実践によって、より良いものとなり君を幸福に導いてくれることだろう。このハンドブックには人生のヒントがたくさん書かれている。スカウトハンドブック・アドバンスを活用して楽しく魅力ある活動を行い、君のこれから的人生が、希望に満ちた最良の方向に進むことを期待する。

ようこそスカウトハンドブック・アドバンスの世界へ。

これからベンチャーとしてスカウトの新たなステージの始まりである。さあ君の目標を高めに向かって進んでいこう。

(「スカウトハンドブック・アドバンス」より)

- 傍線部分を読むと、スカウト自身に「ちかい」と「おきて」を落とし込ませるように指導することが、指導者の役割であることがわかります。
- スカウトが自分自身で「ちかい」と「おきて」を胸に日常生活を送るのですから、「ちかい」のはじまりは「私」を「わたくし」と読むのが適当です。「わたし」ではありません。
- 「おきて」には番号が振ってあります。「いち」「に」「さん」…と、番号まで述べさせるようにしましょう。「4」「7」の読み方に指定はありません。以前は「し」「しち」と読んでいましたので、長年指導者をされている方は、そのように読ませる指導をされていると思います。現在は、指定がありません。
- 「ちかい」と「おきて」を実践する姿が端的に表れるのが、「制服の着方」であると指導すると、制服指導が行いやすくなります。
- カブスカウトの「やくそく」と「さだめ」、ビーバースカウトの「やくそく」は「きまり」は、「ちかい」と「おきて」とは意味合いが異なります。したがって指導も異なることに注意してください。

【別添2】 CS「やくそく」と「さだめ」、BVS「やくそく」と「きまり」を正しく述べる

○傍線部分がポイントです。

③ カブスカウトの進歩制度とデンリーダー

(1) カブスカウトのやくそくとカブ隊のさだめ

やくそく
ぼく（わたくし）は
まじめに しっかり やります
カブ隊の さだめ をまもります

少年が、りすの道を終わって、カブスカウトになるとき、みんなこのやくそくをします。ボイスカウトのちかいと違うのは、年代特性により自分自身ではなく、カブ隊の仲間、隊長はじめ隊の指導者、保護者にやくそくするものです。自分は心から一生懸命に自分の全力をつくすことを、そして仲間のさだめを守って、よい仲間の一人になることをやくそくして、初めて、ボイスカウト運動に加わったことになります。

カブ隊のさだめ

1 カブスカウトは すなおであります
2 カブスカウトは 自分のことを自分でします
3 カブスカウトは たがいに助けあいます
4 カブスカウトは おさないものをいたわります
5 カブスカウトは すすんでよいことをします

この5つが、カブ隊のさだめです

やくそくがカブスカウトの生活上の信条であり、カブ隊のさだめが、その具体的な項目であることにお気づきになったことで

しよう。
この具体的な項目をさらに実際に体得する方法を示したものを、カブスカウトの進歩制度といいます。

(2) カブスカウトの進歩制度

少年たちは実際何の指導を受けなくとも、年上の少年を見習ったり、いろいろな経験をしたりして大人になっていきます。

カブスカウト活動は、それをもっと上手に楽しみながら、効果的に行う方法です。進歩制度について要約すれば、

- (1) 少年たちが普段行っているを中心
- (2) 少年たちのやりたがること（エネルギーを発散させるようなことなど）
- (3) 社会人として基礎的な事柄

の3つから組み立てられます。そして、3年生から5年生まで、それぞれの年齢に合わせて、できるだけ無理なく実行できるように、家庭や集会で楽しく行えるようにしてありますので、少年たちの意欲をかきたてながら、自然に行われるよう指導されなければなりません。保護者や指導者が無理に教えこもうとしたり、早くやらせようとしたりすると、カブスカウト活動のおもしろさは失われてしまいます。

（「デンリーダーハンドブック」より）

① ビーバースカウトの「やくそく」

ぼくは（わたくしは）
みんなとよくします。
ビーバー隊のきまりをまもります。

ビーバースカウト年代では、「3つのつとめ」のうち、「自分へのつとめ」を中心に設定してあります。「神へのつとめ」と「他へのつとめ」については、「ビーバースカウト活動の目標」（14ページ参照）の中に反映させています。指導者が、この目標をふまえて隊活動を行い、子どもたちがビーバースカウトの「やくそく」を守るビーバー隊の「きまり」を実行できるように支援することで、子どもたちを「ちかい」と「おきて」の実践につなげることになります。

ビーバースカウト年代の子どもたちは、自己中心的な傾向が強く、また、そこから少しづつ脱却していく段階でもあります。小学校の中学生・高学年、いわゆるカブスカウト年代になると、子どもたちはまだ結構粘り強く、数人で行動するようになります。（カブスカウト隊では6人を1グループ「組」として活動します）

グループの活動に参加するための第一歩は、まず、その仲間と仲良くなることから始まります。行儀よくせることも大切ですが、にぎやかにやべったり、互いにつづきあつたり動きまわつたりして、いっしょに遊びながら、誰とでも仲良くやっていくことの楽しさを体験させたいのです。

② ビーバー隊の「きまり」

1 ビーバースカウトは げんきにあそびます
2 ビーバースカウトは ものをたいせつにします
3 ビーバースカウトは よいことをします

ビーバースカウト年代では、戸外で身体を動かし、活発に活動することは、身体の成長を助けるばかりでなく、子どもたちの情緒を安定させることにもつながります。子どもにとっては、1日のエネルギーはその日のうちに使い果たすことが必

要なのです。
ビーバースカウトの自分に対するつとめは、元気に動き回り、体力をつける、明るい心を育てることです。
いろいろなものが簡単に手に入り、多くのものが与えられる今の時代には、ものを大切にすることがかくおろそかになっています。ビーバースカウトにものを大切にすることを理解させたり、この年代から、素直な気持ちで、良い行いをする習慣を身につけさせることは大切なことです。
良い行いは、みんなの前で認められることにより、子どもたちに具体的に理解させることができます。そこから、身のまわりの人々への感謝の気持ちを育てたり、思いやりの心を養うこと、ねらいの一つとしています。
このようなことが、やがて「神へのつとめ」へと育っていくことが期待されます。
ビーバー隊の「きまり」は、ビーバースカウト一人ひとりが自分のつとめとして実行してはじめて、その意義は果たされます。ですから、ビーバースカウトが身边に感じ理解できるように、やさしい言葉で定めています。
スカウト一人ひとりが主体的に実行することができるボイスカウト年代以上と同様の期待には無理があります。そこで、ビーバースカウト部門では、単なる「きまり」ではなく、「ビーバー隊の『きまり』」としました。そこには主張性を期待しつつ、スカウト一人だけで実行するのではなく、指導者の支援のもとで仲間とともに実行しようという考え方を含めています。

（「ビーバースカウトリーダーハンドブック」より）

【別添3】 制服を正しく着用するように指導すること

○傍線部分が指導のポイントです。

ボーイスカウトのかっこいいユニフォーム

きみのユニフォーム

●スカウトのしるし

①上着は、半そでと長そでがある。
②ベルトは、紺色と緑のストライプの布製で、バックル付とする。
③ネッカチーフは、隊で統一して定めた色の三角形のものを使用する。
④制帽は、男子はハット、女子はハットまたは中折れ帽^{はつ}を隊で統一して着用する。帶はいずれも紺色と緑色のストライプの布製とする。ボーイスカウト部門のシンボルカラーは緑色である。

※制服の記章の位置は表紙裏に記載しているので正しくつけよう！

●きみのユニフォーム

ボーイスカウトは、自ら進んで集まつた人々がつくっている世界で最も大きな青少年団体である。世界のスカウトの仲間たちはみんな、誇りをもってユニフォームを身につけている。

（きみがスカウトであることを表す）

きみがユニフォームを着ていれば、日本国内はもとより世界のどこにいっても、きっとその地域、国のスカウトたちが歓迎してくれるだろう。ユニフォームは、きみが「スカウトの仲間」であることを示す。

（だれもがスカウトとして平等であるあかし）

スカウトのちからをたてて、きみは自分の最高の努力をすることを約束した。ユニフォームを着たすべての仲間は等しく、スカウトとして高い理想に向かって努力することを示している。

（野外で活動するのにふさわしいもの）

野外で活動しやすいようにできている。例えば、きみが森の中で小動物を驚かすことなく、そっと観察できる自然になじんだ色である。

（信頼のしるし）

ユニフォームを知っている人はたくさんいる。そしてユニフォームを着たきみに信頼を寄せてくれるだろう。それは、きみが自分で考え、行動できる人だと思うからなのだ。

ユニフォームを着るということ

「ユニフォーム（制服）」という言葉を辞書でひくと「学校・会社など一定の団体で着るように定められている、色や形の定まった服装。（反対語として私服）」と出ていている。

ではなぜ私たちは制服を着るのか？統一されていることにはどんな意味や効果があるのだろう。みんなは学校の文化祭や体育祭でクラスTシャツを作ったことがあるだろう。また、部活動をやっている人は、ユニフォームの他に、おそらくジャージやポロシャツ、パッグ等を作った経験があるだろう。ユニフォームは自分たちの好きなグループの仲間の一員だという所属意識や安心感をもたらすものなのだ。

制服にはもうひとつ、ある資格や基準・規則の「象徴」としての意味がある。例えば航空機のパイロットや警察官であれば勤勉をして必要な資格を取らないと制服を着ることができない。つまり制服そのものが資格の象徴^{ようしゆ}となっている。そして制服を着れば、求められる行いや守らなければならないルールがある。ボーイスカウトであれば当然「ちかい」と「おきて」の実践につとめること、それが「ユニフォームはスカウト運動の象徴」ということなのだ。

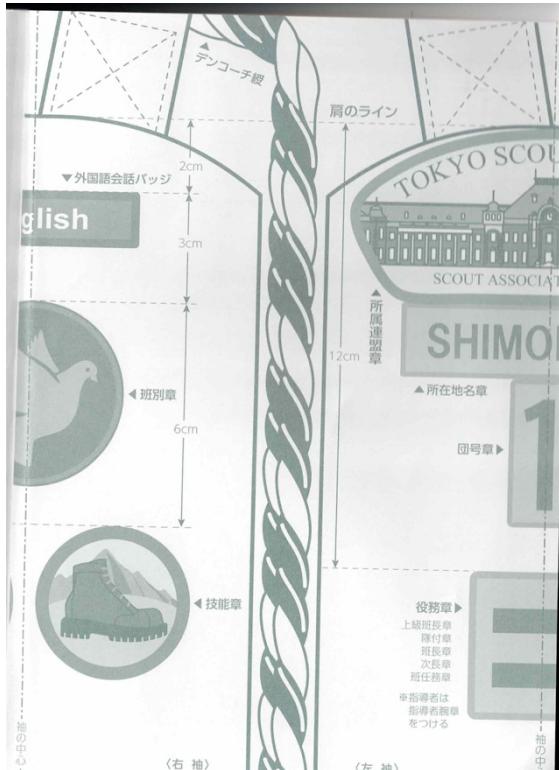
制服はルールで着るものだから個性で着こなす私服とは違う。わたしたちはいつもその点に気をつけて、記章を正しく着けて、気持ちも引き締めて、ユニフォームを着よう。

世界のユニフォーム

スカウトのユニフォームは、もともと野外で活動するのに便利な服装（つば広帽子、カーキ色の半そでシャツ、半ズボン、ストッキング）を基本にしていた。しかし、スカウト運動が広まるにつれて気候や文化の違いから各国にあった様々な制服が決められている。

世界のスカウトの制服は本当に色数が多くて、赤・青・緑・黒・灰・オレンジその他いろいろある。きみもジャンボリーなどの機会に見かけることがあると思う。きみたちはお互いに「ちかい」と「おきて」を守っているスカウト同士だから、きっと友情を深めることができるだろう。





（「スカウトハンドブック・ベーシック」より）

- 肩の記章類は、エポレット（肩飾り）の後ろ側を中心として着用します。
- 所属連盟章は、袖の縫い付け部分に合わせて付けます。
- 所属連盟章と所在地名章・団号章は、間隔を空げず付けます。
- 役務章は、BS のみ着用します。一部 VS が着用できるものもあります。
 - ・上級班長章、隊付章は、VS でも着用できます。
 - ・班長章、次長章、班任務章は、VS 以上は着用しません。
- 班別章は、BS のみ着用します。
VS には班がありません。

9-4-1

教育規程 施行細則

ボーイスカウトの正装

The diagram illustrates the components of a Boy Scout uniform. A central figure shows a boy in a uniform with various badges and patches. Labels point to specific items: '日の丸' (Flag of Japan) on the shoulder, '世界スカウト記章' (World Scout Emblem) on the chest, 'デニコーネ級' (Denison Class), '外国语会話バッジ' (Foreign Language Conversation Badge), '班別章' (Troop Number Badge), '連盟員章' (League Member Badge), '技能章' (Skill Badge), and 'チャレンジバッジ' (Challenge Badge). The belt has a buckle labeled '進級記章' (Promotion Badge). A separate inset shows a shirt with a sash featuring 'SKY DOG' and 'SKY DOG' patches, with '技能章' (Skill Badge) also labeled.

- ・上着は、長袖も着用することができる。
- ・ズボンは、ブッシュパンツタイプの長ズボンを着用するが、半ズボンおよびキュロットも着用することができる。
- ・半ズボンおよびキュロット着用時の襪下は、ズボンと同系色のものとする。
- ・ベルトは、紺色と緑色のストライプの布製で、バックル付きとする。
- ・ネッカチーフは、隊で統一して定めた色の三角形の布とする。
- ・制帽は、男子はハット、女子はハット又は中折れ帽を隊で統一して着用する。帯はいずれも紺色と緑色のストライプの布製とする。

教育規程 施行細則

9-4-1

ベンチャースカウトの正装

The diagram illustrates a Boy Scout uniform consisting of a shirt, trousers, and a hat. Numerous badges are shown attached to the uniform, each labeled with its name in Japanese:

- 帽章 (Hat badge)
- Earth Tribe バッジ (Earth Tribe badge)
- 有功記章、宗教章、スカウト顕彰記章 (Merit badge, Religious badge, Scout commendation badge)
- 信仰獎勵章 (Religious reward badge)
- 所属連盟章 (Affiliation alliance badge)
- 所居地名章 (Residence location badge)
- 団号章 (Group emblem badge)
- 年功章 (Seniority badge)
- 進級記章 (Promotion badge)
- チャレンジバッジ (Challenge badge)
- 技能章 (Skill badge)
- 世界スカウト記章 (World Scout badge)
- 連盟員章 (Affiliation member badge)
- 技能章 (Skill badge)
- 外国语会話バッジ (Foreign language conversation badge)
- 認識章 (Recognition badge)
- 日の丸 (Flag of Japan)

- ・上着、ズボン共に、ボーイスカウトと同じ。
- ・ネッカチーフは、ボーイスカウトと同じ。
- ・ベルトは、緑色の布製、又は革製で、バックル付きとする。
- ・制帽は、ボーイスカウトと同じ。

(「日本連盟規程」より)

- ベルトは、ボイスカウトとベンチャースカウトでは違うことに注意してください。
 - 制帽は隊で統一することに注意してください。団で統一する必要はありません。



【その他の留意点】

- 半袖の制服着用の際、寒い場合は、制服の上から重ね着をして、体温調節をするようにしてください。**制服の下に長袖を着るなどして、制服の袖口から下着やセーターの袖が出てすることのないようにしてください。**正しい制服の着用が大前提です。

- 寒冷時には、スカウトの健康を第一に考え、半袖姿に無理にさせないように指導してください。場合によっては、ハームとなる場合がありますので注意してください。ただし、TPO を考え統一する必要がある場合は、指揮者の指示に従ってください。その場合の判断でも、スカウトの健康を第一に考えるようにしてください。

(「カブスカウト隊リーダーハンドブック」より)